

「命の教育」～心肺蘇生法トレーニング（ミニアンコース）～指導展開
 ～1 時限目～（45 分）

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	時間	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 事前アンケート実施（3分） 授業の流れの説明（2分） 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の流れの把握 	5分	<ul style="list-style-type: none"> 授業を行う前の段階での意識調査を行う 配布資料の準備
展開①	<ul style="list-style-type: none"> 自分の祖父母の似顔絵を書く(20分) 	<ul style="list-style-type: none"> 	20分	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者は、自宅内で倒れる確率が高いことを話す
展開②	<ul style="list-style-type: none"> 祖父母について話し合う(5分) 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者は、病気になりやすく、突然倒れることもあることを理解する 周りのお友達も突然倒れることがあることを、認識させる 	5分	<ul style="list-style-type: none"> 人は突然倒れることもあると、指導する
展開③	<ul style="list-style-type: none"> 心肺蘇生法デモストレーション 	<ul style="list-style-type: none"> 人が倒れた時、何が出来るか考える 	5分	<ul style="list-style-type: none"> 呼びかけ反応、応援要請胸骨圧迫のうち、応援要請をとくに強調して行なう
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 人が倒れたら、傷病者の大人の人を呼びにいくことを指導する 	<ul style="list-style-type: none"> 	10分	<ul style="list-style-type: none"> こどもでも、人を助けることが出来ると指導する